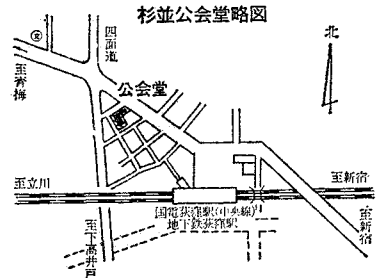


昭和46年度 夏期講習会 —土木技術者の法律講座— ▶ 9月16日(木)～17日(金) ◀

本年度、土木学会夏期講習会は「土木技術者のための法律講座」をテーマに下記により実施いたします。

当講習会は、① 土木技術者が日々遭遇する法律の概略説明、② 関係各法律の運用上の注意事項、③ 工事制の適用法律の説明および運用方法、④ その他、日常第一線の土木技術者の活動に直接関係する話題を取り上げて簡明に解説、指導を得ようとするものであります。官公庁、地方庁の技術者、建設会社、コンサルタントの技術者、就職をひかえた学生諸君、その他関係各位の多数ご参加を希望致します。



記

1. 期 日：1971年9月16日(木)～17日(金)の2日間
2. 場 所：杉並公会堂(国電・地下鉄有楽町線 北口下車徒歩5分)
3. 参 加 費：(テキスト代含む)会員3000円・非会員4000円
4. テキスト：土木技術者のための法律講座
5. テーマ：土木技術者のための法律講座
6. 題目・講師および日程：

第1日；9月16日(木)

|             |                      |          |       |
|-------------|----------------------|----------|-------|
| 9.30～9.45   | 開会挨拶                 | 土木学会会長   | 高野 務  |
| 9.45～10.45  | 総論 会計法・予決算           | 建設省大臣官房  | 山本 重三 |
| 10.45～12.15 | 建設業法・公害対策基本法・騒音規制法   | 建設省計画局   | 西川 龍三 |
| 12.15～13.00 | 昼食・休憩                |          |       |
| 13.00～14.00 | 水質汚濁防止法              | 環境庁水質保全局 | 米村 紀幸 |
| 14.00～15.00 | 労働基準法および関係法令         | 労働省安全衛生部 | 加来 利一 |
| 15.00～15.10 | 休憩                   |          |       |
| 15.10～16.30 | 道路交通関係法令(ただし、軌道法を除く) | 建設省道路局   | 横沢 伯達 |

第2日；9月17日(金)

|             |             |            |       |
|-------------|-------------|------------|-------|
| 9.30～10.15  | 火薬類取締法令     | 通産省公害保安局   | 伊藤 清蔵 |
| 10.15～11.15 | 河川関係法令      | 建設省河川局     | 岩本 章雄 |
| 11.15～12.00 | 港湾関係法令      | 運輸省港湾局     | 浜崎 哲史 |
| 12.00～12.50 | 昼食・休憩       |            |       |
| 12.50～13.50 | 都市計画法・公園法   | 建設省都市局     | 並木 昭夫 |
| 13.50～14.35 | 下水道法<br>水道法 | 建設省都市局     | 安藤 茂  |
|             |             | 厚生省環境衛生局   | 山村 勝美 |
| 14.35～14.45 | 休憩          |            |       |
| 14.45～15.40 | 建築基準法       | 建設省住宅局     | 浪岡 洋一 |
| 15.40～16.20 | 宅地造成等規制法    | 建設省計画局     | 藤條 邦裕 |
| 16.20～16.30 | 閉会挨拶        | 行企企画委員会委員長 | 森 茂   |

7. 申込方法：本誌7月号添布の用紙に氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ、参加費を添えて現金書留で土木学会事業課(〒160 東京都新宿区四谷1丁目・電話(03)351-5138)あて8月31日までにお申込み下さい。なお、満員の場合はお断りすることがありますのでなるべくお早目をお願い致します。

## 日本学術会議 第 9 期 会員選挙立候補者の推薦

本年 11 月行なわれる標記選挙の立候補者の推薦につき、理事会において協議の結果、土木学会では次の 6 名の方を推薦することになりましたので、お知らせ致します(五十音順)。

(全国区第 5 部 土木工学)

|          |              |                     |
|----------|--------------|---------------------|
| 石原 藤次郎 君 | 昭和 5 年京都大学卒  | 工学博士                |
|          | 京都大学教授 専攻    | 河海工学                |
| 国分 正胤 君  | 昭和 11 年東京大学卒 | 工学博士                |
|          | 東京大学教授 専攻    | コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学 |

(地方区第 5 部 土木工学)

|         |              |                     |
|---------|--------------|---------------------|
| 伊藤 富雄 君 | 昭和 18 年京都大学卒 | 工学博士                |
|         | 大阪大学教授 専攻    | 土質工学                |
| 河上 房義 君 | 昭和 11 年東京大学卒 | 工学博士                |
|         | 東北大学教授 専攻    | 土質工学                |
| 成岡 昌夫 君 | 昭和 15 年京都大学卒 | 工学博士                |
|         | 名古屋大学教授 専攻   | 構造力学                |
| 横道 英雄 君 | 昭和 7 年北海道大学卒 | 工学博士                |
|         | 北海道大学教授 専攻   | コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学 |

## 「構造物およびその構成要素の強度と安全性」に関する研究発表論文募集

### (第 18 回橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。趣旨につきましては、本誌 3 月号にも予告致しましたが、多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。

1. 期 日：1971 年 12 月 3 日(金)
2. 共 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷 1 丁目)
4. 申込要領：
  - (1) 論文内容：次の各項に関する独創的な実験あるいは、理論的研究を対象とする。
    - ① 繰返し荷重をうける構造物の挙動と強度
    - ② 構造物およびその構成要素の耐荷特性、特に初期不整、残留応力などの影響
    - ③ 接合および接合部の挙動と安全性の評価
    - ④ 構造物およびその構成要素の強度、変形態にもとづく安全度の評価
  - (2) 申込方法：8 月 31 日までに、論文題目、発表者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先、および連絡先と 100 字以内の内容概要を添えて、学会宛お申込み下さい。  
採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。  
採用のうちは 10 月 15 日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。

第18回海岸工学講演会 <於札幌市>

▶ 10月28日(木)~29日(金) ◀

第18回海岸工学講演会は下記の日程により札幌市において開催致しますので多数ご参加下さいませ  
ようご案内致します。なお、講演会論文集は目下編集中ですので10月中旬にでき上る予定です。

主催：土木学会海岸工学委員会、共催：土木学会北海道支部

1. 期 日：1971年10月28日(木)~29日(金)
2. 会 場：第1会場 北海道自治会館自治ホール(札幌市北4条西6丁目・電 011-241-9111)  
第2会場 北海道自治会館第1会議室( " " )
3. 講演題目：○印は講演者

第1日 10月28日(木) 第1会場(北海道自治会館自治ホール)

- |                  |                              |  |
|------------------|------------------------------|--|
| 9.00~9.10        | 開会挨拶                         | 土木学会海岸工学委員会委員長 岩垣雄一                    |
| 9.10~9.25 (1)    | 博多湾の風と波—冬冬季節風による結果—          | 九州大学応用力学研究所 光易恒                        |
| 9.25~9.40 (2)    | 別府湾における台風時の波浪推算について          | 東京大学工学部 堀川清司・西村仁嗣・小沢保臣・宮本幸始            |
| 9.40~9.55 (3)    | 波の上の風の性質に関する実験的研究(2)         | 運輸省港湾技術研究所 ○加藤始・佐野喜久雄                  |
| 9.55~10.10 (4)   | 循環式風洞水槽による風波の特性について          | 京都大学防災研究所 ○土屋義人・山口正隆                   |
| 10.10~10.30      | 討議(1)~(4)                    |  |
| 10.30~10.40      | 休憩                           |  |
| 10.40~10.55 (5)  | 浅海における風浪の発達                  | 台湾成功大学 ○郭金棟・東京大学工学部 堀川清司               |
| 10.55~11.10 (6)  | 計算による波のスペクトルの浅海における変形        | 台湾成功大学台南水工試験所 湯麟武                      |
| 11.10~11.25 (7)  | 逆風による波の減衰に関する実験的研究(1)        | 九州大学応用力学研究所 光易恒・水野信二郎                  |
| 11.25~11.40 (8)  | 風波の反射によって起るスペクトル構造の規則的变化について | 名古屋工業大学工学部 ○石田昭・伊藤親直                   |
| 11.40~12.00      | 討議(5)~(8)                    |  |
| 12.00~13.30      | 昼食休憩                         |  |
| 13.30~13.45 (9)  | 孤立波の変形に関する研究(2)              | 北海道大学工学部 ○佐伯浩・東亜港湾工業 高木和博・北海道大学工学部 尾崎晃 |
| 13.45~14.00 (10) | 流れを遡る波のエネルギーの減衰について(II)      | 東北大学工学部 岩崎敏夫・佐藤道郎                      |
| 14.00~14.15 (11) | 波による鉛直板よりの渦の発生とエネルギー逸散       | 東京工業大学 日野幹雄・兵庫県土木部 ○山崎丈夫               |
| 14.15~14.30 (12) | 数値波動解析法とその応用—構造物周辺の波—        | 運輸省港湾技術研究所 伊藤喜行・谷本勝利                   |
| 14.30~14.45 (13) | 現場向きの防波堤付近の波高分布推算法           | 徳島大学工学部 ○三井宏・筒井茂明・亀川利正                 |
| 14.45~15.00 (14) | 小名浜港西防波堤の遮蔽効果について            | 運輸省第二港湾建設局 ○赤塚雄三・砂山益実・新日本気象海洋 進藤勉・矢木秀雄 |
| 15.00~15.30      | 討議(9)~(14)                   |  |
| 15.30~15.40      | 休憩                           |  |
| 15.40~15.55 (15) | 波の乱流の定義と測定について               | 東京工業大学工学部 日野幹雄・農林省農薬土木試験所 ○大西亮一        |
| 15.55~16.10 (16) | 斜面上の波の水粒子速度の鉛直分布について         | 京都大学工学部 岩垣雄一・酒井哲郎・運輸省第二港湾建設局 川島毅       |
| 16.10~16.25 (17) | 超音波流速計による波の水粒子速度に関する実験的研究    | 京都大学防災研究所 土屋義人・山口正隆                    |
| 16.25~16.40 (18) | 反射実験における波の相互干渉               | 京都大学工学部 岩垣雄一・木村晃                       |
| 16.40~16.55 (19) | せん断流の中の表面波の性質について            | 運輸省港湾技術研究所 浜田徳一                        |
| 16.55~17.20      | 討議(15)~(19)                  |  |

第1日 10月28日(木) 第2会場(北海道自治会館第1会議室)

- |                  |  |                                  |
|------------------|--|----------------------------------|
| 9.00~9.10        | 開会挨拶                                     |                                  |
| 9.10~9.25 (20)   | 多孔式防波堤の水理特性                              | 中央大学理工学部 服部昌太郎                   |
| 9.25~9.40 (21)   | 透過性防波堤と岸壁に関する研究                          | 九州大学工学部 ○井島武士・江口泰彦・小林彰           |
| 9.40~9.55 (22)   | 透過性防波堤構造の水理特性 第2報                        | 室蘭工業大学工学部 近藤徹郎・藤岡聡               |
| 9.55~10.10 (23)  | テーブル型ブロックによる消波岸壁について                     | 元運輸省第四港湾建設局 尾崎重雄                 |
|                  | ・九州大学工学部 井島武士・運輸省第四港湾建設局 ○川上善久・田中伸昌・平野淳二 |                                  |
| 10.10~10.30      | 討議(20)~(23)                              |                                  |
| 10.30~10.40      | 休憩                                       |                                  |
| 10.40~10.55 (24) | 港堤の効果に関する理論的研究 1. 不透過港堤                  | 九州大学工学部 井島武士・佐々木富雄・坂井久雄          |
| 10.55~11.10 (25) | 離岸堤による波浪減殺効果の現地観測                        | 建設省土木研究所 富永正昭・建設省河川局 坂本忠彦        |
| 11.10~11.25 (26) | 離岸堤工法の設計指針                               | 建設省河川局 豊島修                       |
| 11.25~11.40 (27) | マリーナ計画のための海岸工学的基準(1)                     | 東海大学工学部 酒匂敏次・日本テトラポッド ○野尻徹郎・遠藤泰司 |
| 11.40~12.00      | 討議(24)~(27)                              |                                  |
| 12.00~13.30      | 昼食休憩                                     |                                  |

- 13.30~13.45 (28) 水面上の弾性板の波による振動 東京工業大学工学部 ○日野 幹雄・鶴飼 恵三  
 13.45~14.00 (29) 矩形断面をもつ浮体の浅海波による自由運動 (I理論) 九州大学工学部 井島 武士・○田淵 朝修・湯村 やす  
 14.00~14.15 (30) 大型ポンツーンの運動に関する研究 東洋大学工学部 本間 仁・○萩原 国宏  
 14.15~14.30 (31) 浮防波堤の係留について 日本大学理工学部 ○久宝 雅史・三井造船 久宝 啓作・日本大学大学院 石黒 久・中川 善雄  
 14.30~14.45 (32) 吸収体付き消波工—マットレスの消波効果— 農林省農業土木試験場 加藤 重一・乃万 俊文  
 14.45~15.00 (33) 異形ブロック消波工に関する二、三の考察 室蘭工業大学工学部 近 藤 徹 郎  
 15.00~15.30 討 議 (28)~(33)  
 15.30~15.40 休 憩  
 15.40~15.55 (34) 浮標に働く負の揚力に関する研究 (第1報) 大阪市立大学工学部 永井荘七郎・○倉田 克彦  
 15.55~16.10 (35) 砕波移行領域における波圧の変化に関する実験 運輸省港湾技術研究所 ○合田 良実・吉村 和可  
 16.10~16.25 (36) 海岸堤防に作用する砕波後の波圧 建設省土木研究所 ○富永 正照・九津見生哲  
 16.25~16.40 (37) 海底パイプラインに作用する波力について (その1) 東海大学海洋学部 長崎 作治・日本エンジニアリング 尾形 治

第2日 10月29日(金) 第1会場(北海道自治会館自治ホール)

- 9.00~9.15 (38) 高知港津波模型による津波の変形特性に及ぼす河川流の影響について 京都大学防災研究所 中村 重久  
 9.15~9.30 (39) 合成波による長方形港湾泊地の振動特性について 京都大学工学部 岩垣 雄一・○村上 仁士  
 9.30~9.45 (40) 日本海北部沿岸の異常気象時における潮位特性 運輸省第一港湾建設局 西村 一夫・○田中 則男・竹内 秀哲  
 9.45~10.00 (41) 重ね合わせによる波峰水位の確率計算について 日本大学理工学部 久宝 雅史・○竹沢 三雄・日本大学大学院 小池 一臣  
 10.00~10.20 討 議 (38)~(41)  
 10.20~10.30 休 憩  
 10.30~10.45 (42) 波の遡上、越波および反射の関連性について、第3報—水面波形と越波量の相関特性— 中部工業大学工学部 高田 彰  
 10.45~11.00 (43) 斜め入射波による鉛直堤の越波に関する実験的研究 関西大学工学部 ○井上 雅夫・京都大学工学部 土屋 義人  
 11.00~11.15 (44) 不規則波による海岸堤防の越波量 建設省土木研究所 富永 正照・○樺本 宏  
 11.15~11.30 (45) 堤防越波量に及ぼす離岸堤背後地形の効果に関する実験的研究 (離岸堤の効果に関する研究第1報) 大阪大学工学部 樺木 亨・○岩田 好晴  
 11.30~11.50 討 議 (42)~(45)  
 11.50~13.00 昼 食 休 憩  
 13.00~13.15 (46) 冷却水放出に関する研究 大阪市立大学工学部 永井荘七郎・○久保 直・倉田 克彦・足立 正裕  
 13.15~13.30 (47) エアカーテンによる上昇流の発生に関する研究 農林省農業土木試験場 中村 充  
 13.30~13.45 (48) 風波の作用下における水温成層の挙動に関する一実験 電力中央研究所 和田 明・○片野 尚明  
 13.45~14.00 (49) 淡水二層流における乱れ拡散に関する研究 (2) 東北大学工学部 岩崎 敏夫・東北工業大学工学部 ○阿部 至雄  
 14.00~14.15 (50) インターナルジャンプの変動スペクトルに関する実験 東北大学工学部 岩崎 敏夫・東北学院大学工学部 ○上原 忠保  
 14.15~14.30 (51) 廃液浮上ブリュームの分岐拡散の現象について 中央大学理工学部 林 泰造・同大学院 ○竹中 節  
 14.30~15.00 討 議 (46)~(51)  
 15.00~15.10 休 憩  
 15.10~15.25 (52) 往復流中における廃液の移流と拡散について 中央大学理工学部 林 泰 造  
 15.25~15.40 (53) 海域での物質拡散におよぼす流れの影響 電力中央研究所 ○和田 明・片野 尚明  
 15.40~15.55 (54) 洞海湾における汚染物質の拡散 運輸省第二港湾建設局 堀口 孝男・○平出 友信・運輸省第四港湾建設局 川上 善久  
 15.55~16.10 (55) 東京湾の港湾区域における汚染 運輸省第二港湾建設局 堀口 孝男  
 16.10~16.25 (56) 松川浦における潮流の水理模型実験について 京都大学防災研究所 樋口 明生・産産省工業技術院公害資源研究所 ○辻 正明  
 16.25~16.40 (57) オホーツク海沿岸湖口の閉塞について 室蘭工業大学工学部 近藤 徹郎  
 北海道開発局室蘭開発建設所 宇田居吾一 北海道開発局土木試験所 鶴上 雄三・○佐藤 功  
 16.40~17.10 討 議 (52)~(57)  
 17.10~17.20 閉 会 挨拶 土木学会海岸工学委員会委員長 岩 垣 雄

第2日 10月29日(金) 第2会場(北海道自治会館第1会議室)

- 9.00~9.15 (58) 波による底質の浮遊機構 (I) 鳥取大学工学部 ○野田 英明・岩佐 敏博  
 9.15~9.30 (59) 振動流における浮遊砂の濃度と粒径 電力中央研究所 ○鹿島 達一・齋藤 昭二  
 9.30~9.45 (60) 飛砂における砂粒の Saltation の特性について 京都大学防災研究所 土屋 義人・京都大学大学院 ○河田 忠昭  
 9.45~10.00 (61) 実験計画法による海浜変形の研究—因子の要因効果について— 岐阜大学工学部 増田 重臣・名城大学理工学部 ○伊藤 政博  
 10.00~10.20 討 議 (58)~(61)  
 10.20~10.30 休 憩  
 10.30~10.45 (62) 海岸堤防脚部の局所洗掘機構について そのII (特にのり面上のもどり流れの特性について) 大阪大学工学部 ○樺木 亨 大成建設 高畑 市三

- 10.45~11.00 (63) 部分重複波による Sand wave に関する研究 農林省農業土木試験場 杉江 正文 ○川口 毅  
 11.00~11.15 (64) 荒天時の海底地形変動に関する一考察 運輸省港湾技術研究所 佐藤 昭二 ○入江 功  
 11.15~11.30 (65) モアレ写真による浅海底の砂れん 東京教育大学理学部 ○井口 正男・松本 栄次  
 11.30~11.50 討 議 (62)~(65)  
 11.50~13.00 昼 食 休 憩  
 13.00~13.15 (66) 海浜流に関する研究, 第1報 観測法と湘南海岸における観測法  
 東京大学工学部 堀川 清司・東京大学大学院 ○佐々木民雄・福井 直治  
 東京大学工学部 五十嵐 元・鬼頭 平三  
 13.15~13.30 (67) 港湾付近における海浜変形と底質との関係 北海道大学工学部 尾 崎 晃  
 13.30~13.45 (68) 石狩湾沿岸の漂砂  
 北海道開発局土木試験所 ○鴻上 雄三・北海道開発局 長内 戦治・星 藤男・高松 光幸  
 13.45~14.00 (69) 富山海岸湾奥部の浸食について 運輸省港湾技術研究所 佐藤 昭二・入江 功・堀川 毅  
 14.00~14.25 討 議 (66)~(69)  
 14.15~14.35 休 憩  
 14.35~14.50 (70) 千葉県九十九里海岸における漂砂の卓越に関する研究 東京大学工学部 堀川 清司・○砂村 継夫  
 14.50~15.05 (71) 大淀河口附近の海底変化について 宮崎大学工学部 吉 高 益 男  
 15.05~15.20 (72) 石狩川河口における二, 三の問題 北海道大学工学部 ○福島 久雄・八鍬 功・高橋 将  
 15.20~15.35 (73) 河口流と潮汐と地形 北海道大学工学部 柏村 正和・吉田 静男  
 15.35~15.55 討 議 (70)~(73)

5. 懇 親 会

- (1) 期 日: 1971 年 10 月 28 日 (木) 18.00 より  
 (2) 会 場: 北海道自治会館レストラン「ミカサ」  
 (3) 会 費: 2000 円  
 (4) 定 員: 70 名

6. シンポジウム

- (1) 期 日: 1971 年 10 月 30 日 (土) 9.00~12.00 会場: 北海道自治会館 4 階中宴会場 (白樺)  
 (2) テ ー マ: 漂砂に関するシンポジウム  
 (3) コンビナー: 北海道大学 尾崎 晃教授  
 (4) 話題および話題提供者:  
 ① 自然の漂砂現象—大阪大学 樫木 亨教授  
 ② 漂砂調査法—北海道大学 柏村正和教授  
 ③ 漂砂対策と構造物—建設省 豊島 修氏

- (5) 定 員: 80 名

7. 見 学 会:

- (1) 期 日: 1971 年 10 月 30 日 (土) Aコース (苫小牧港見学) 9.00~16.30  
 Bコース (市内オリンピック施設見学) 13.00~16.40  
 (2) コ ー ス:  
 ① Aコース  
 9.30 テレビ塔集合・出発—苫小牧港—樽前山七合目—支笏湖—テレビ塔解散 17.00  
 ② Bコース  
 13.00 自治会館前集合・出発— (13.30) 地下鉄真駒内駅 (13.55) — (14.05) 真駒内 スケート 競技場  
 (14.30) — (15.00) 大倉シャンツェー (15.15)  
 手稲山スキー競技場 (16.00) —札幌大通公園解散 (16.40)  
 (3) 参 加 費: Aコース 1000 円 (バス・昼食代) Bコース 500 円 (バス代)  
 (4) 定 員: Aコース 50 名 Bコース 50 名

8. 申 込 方 法: 懇親会, 見学会に参加ご希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先住所を明記のうえ, 参加費を添えて  
 10 月 9 日 (土) までに下記にお申込み下さい。定員がありますので早目にお申込み下さい。な  
 お, 参加者多数の場合の受付は着金の順になりますのでご了承下さい。また, 講演会 (10 月 28  
 日~29 日) および, シンポジウム (10 月 30 日) の参加は自由 (参加費無料) ですことを申添  
 えます。

9. 懇親会・見学会申込先: 郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目・土木学会海岸工学講演会係

## 第15回材料研究連合講演会 <於東京>

▶ 9月8日(水)~9日(木) ◀

例年のとおり、標記の講演が関係 23 学協会の共催によって、下記要領で開催されます。プログラムをご希望の方は、土木学会総務課までお申し込み下さい。

1. 期 日：1971年9月8日(水)~9日(木)
2. 会 場：立教大学5号館(豊島区西池袋3・国電、地下鉄とも池袋駅下車、徒歩5分)
3. 講演部門：I. 材料の微視的構造 5題  
 II. 材料の力学的性質と挙動 60〃  
 III. 材料の物理的性質 2〃  
 IV. 材料の化学的性質 3〃  
 VI. 材料の加工と処理 9〃  
 VII. その他 14〃  
 S. シンポジウム 16〃
4. 特別講演：  
 日 時：9月9日 13時10分~14時25分  
 あいさつ：日本学術会議材料研究連絡委員会委員長  
 第15回材料研究連合講演会運営委員会委員長  
 京都大学工学部 教授 石原藤次郎君  
 演 題：「材料設計と性格づけ」  
 東京工業大学 工業材料研究所 教授 斎藤 進六君
5. 講演予稿集予約募集：定価 1000円(締切日以後は 1300円)代金を添えて下記までお申し込み下さい。  
 〒101 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
 社団法人 日本化学会内 第15回材料研究連合講演会係 電話(03-292-6161)

## 第21回応用力学連合講演会 <於東京>

▶ 10月26日(火)~27日(水) ◀

標記講演会を土木学会ほか8団体の共催によって、下記のとおり開催します。

1. 期 日：1971年10月26日(火)~27日(水)
2. 場 所：日本学術会議(東京都港区六本木7-22-34, 電(03)403-6291(代), 都バス7番四谷一品川間  
 南青山1丁目下車徒歩1分, 地下鉄銀座線 青山1丁目下車徒歩10分)
3. 講 演：a) シンポジウム 20題  
 b) 一般講演 103題
4. 講演論文抄録集：予約頒価 2200円(予約に限り送料学会負担。なお、当日頒価 2500円)
5. 予約申込締切日：9月23日(木)必着(ご希望の方は代金を添えて土木学会総務課までお申し込み下さい)

## 第18回風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1971年11月26日(金)9.30~
2. 会 場：気象庁講堂(予定)  
 東京都千代田区大手町1-7 (電話212-8341代表)  
 地下鉄(東西線)竹橋,(丸の内線)大手町下車
3. 共催学会：地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本林学会・日本農業気象学会(幹事学会)
4. 講演申込締切期日：1971年9月16日(木)
5. 講演申込方法：9月16日までに題目・講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)・勤務先・連絡先・スライド・図面等の有無を明記し、幹事学会(日本農業気象学会 東京都北区西ヶ原2-1 農業技術研究所気象課内)または所属学会宛お申込み下さい。
6. 講演時間：1講演15分~20分程度の予定です。
7. その他：シンポジウムの前刷集は作成致しませんので、ご了承下さい。なお講演者が各自プリントのうえ会場に参加者へ配布されることは差し支えありません。  
 なお終了後懇親会を行いませんので多数ご出席下さい。

## 第 8 回衛生工学研究討論会論文募集

土木学会衛生工学委員会は、下記の予定で研究討論会を実施しますので、論文提出者はご応募下さいますようご案内いたします。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1972 年 1 月 28 日（金）、29 日（土）
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂（新宿区四谷 1 丁目無番地）
4. 論文内容：本年度は自由題目といたします。
5. 申込方法：10 月 15 日までに講演原稿を土木学会衛生工学委員会までご提出下さい。なお原稿は学会指定のオフセット原稿用紙（申込み次第送付）をご使用下さい。原稿枚数は 8 枚までとし、期限を厳守下さい。  
昨年と同様、討議論文 1～2 編を附して印刷いたします。特定の討議者をご希望の場合は、希望討議者氏名を同封して下さい。
6. 申 込 先：土木学会衛生工学委員会（新宿区四谷 1 丁目）
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。

## 第 16 回水理講演会講演募集

▶ 2 月 18 日（金）～19 日（土）◀

第 16 回水理講演会を下記により開催致しますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972 年 2 月 18 日（金）～19 日（土）
2. 会 場：発明会館（東京都港区西久保明舟町 17 番地・地下鉄丸ノ門下車徒歩 3 分）
3. 主 催：土木学会水理委員会
4. 課 題：A. 移動床流れの粗度と河床形状  
B. 構造物周辺の流れ（局所流）  
C. 流出解析（統計を含む）
5. 申込方法、その他：10 月 30 日までに講演題目、講演者氏名（連名の場合は登壇者に○をつける）、勤務先、連絡先住所を明記のうえ、土木学会水理委員会までお申込み下さい。折り返し当学会所定の原稿用紙をお送り致します。  
なお、講演の採否については、水理委員会にご一任下さい。
6. 講演原稿締切期日：1971 年 12 月 11 日（土）（厳守）

## 第 4 回コンクリート技術講習会開催のお知らせ

1. 主 催：日本コンクリート会議
2. 後 援：土木学会ほか 5 団体
3. 開催地・会期・会場・申込先・申込締切

| 開催地 | 会 期                          | 会 場                                 | 申込締切      | 定員  | 申 込 場 所  |
|-----|------------------------------|-------------------------------------|-----------|-----|--|
| 東 京 | 10 月 7 日（木）<br>（9.30～16.30）  | 久保講堂<br>東京都千代田区霞関 3-3-4<br>（超高層ビル裏） | 10 月 2 日  | 900 | 105 東京都港区芝公園 6-3 芝パークホテル 310 号<br>日本コンクリート会議（電 433-4131 内 310）   |
| 大 阪 | 10 月 11 日（月）<br>（9.30～16.30） | 難波別院御堂会館<br>大阪市東区久太郎町 4-68          | 10 月 4 日  | 500 | 530 大阪市北区兎我野町 67-1 関西生コンクリート協会<br>（06-312-3267, 8831）  |
| 札 幌 | 10 月 12 日（火）<br>（9.30～16.30） | 北海道自治会館<br>札幌市北 4 条西 6 丁目           | 10 月 5 日  | 400 | 062 札幌市東札幌 1 条 2 丁目 札幌生コンクリート（株）内<br>北海道生コンクリート事業者団体連合会（0111-841-1531）   |
| 高 松 | 10 月 13 日（水）<br>（9.30～16.30） | 百十四ビル 5 階<br>高松市亀井町 5-1             | 10 月 6 日  | 200 | 760 高松市亀井町 12-2 玉川堂ビル 四国生コンクリート<br>協会（0878-61-7452）<br>790 松山市三番町 7-10-1 高橋ビル 四国生コン協会 愛<br>媛支部（0899-31-3481）<br>780 高知市東石立町 53-4 堀重ビル 四国生コン協会 高<br>知支部（0888-75-1793） |
| 名古屋 | 10 月 15 日（金）<br>（9.30～16.30） | 中電ホール<br>名古屋市東区東新町 10-1             | 10 月 8 日  | 400 | 460 名古屋市中区錦 1-3-4 不銀ビル 東海生コンクリート<br>協会（052-231-1739）   |
| 福 岡 | 10 月 20 日（水）<br>（9.30～16.30） | 福岡明治生命館<br>福岡市中央区 5-6-20            | 10 月 13 日 | 450 | 812 福岡市博多駅前 3-28-8 野口ビル 九州生コンクリート<br>事業者団体連合会（092-41-1072）   |
| 仙 台 | 10 月 22 日（金）<br>（9.30～16.30） | 宮城県民会館 6 階<br>仙台市園分町 3-3-7          | 10 月 15 日 | 450 | 980 仙台市境通雨宮 2-30 積第 3 ビル 宮城県生コンクリ<br>ート協会（022-33-0271）   |
| 広 島 | 10 月 28 日（木）<br>（9.30～16.30） | 中国新聞ビル 7 階ホール<br>広島市土橋町 7-1         | 10 月 21 日 | 400 | 733 広島市土橋町 7-1 中国新聞ビル 6 階 宇部興産広島支店<br>内中国生コンクリート協会連合会（0822-82-4181）  |

4. テキストおよび題目

○テキスト：「コンクリート施工の問題点」B5 版上製約 130 頁

○題 目：1. コンクリート施工の重要性/2. コンクリートの施工計画 I (土木)/3. コンクリートの施工計画 II (建築)/4. 型わく工および鉄筋工/5. レデーミクストコンクリートの使用方法/6. 運搬、打込みおよび締固め/7. 養生/8. 検査および試験/9. コンクリート舗装の施工/10. 特殊工法におけるコンクリートの問題点/11. プレストレストコンクリートの施工/12. 施工において構造物に生ずる欠陥と補修

5. 聴講料および申込方法

○聴講料：日本コンクリート会議会員 1 名 1 200 円 (テキスト代共)

会員外 1 名 1 500 円 ( " )

○申込方法：氏名、勤務先、住所 (または連絡先) を明記のうえ、各会場ごとの申込場所にお申込みください。  
なお、講習の参考といたしたく、最終学歴、経験年数を付記願います。定員に達すれば、期限前でも締切ることがありますから早目にお申込みください。

## 第 7 回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

第 7 回岩盤力学に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972 年 2 月 24 日 (木)~25 日 (金)

2. 会 場：土木学会土木図書館講堂

3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会

4. 講演申込要項：

(1) 内 容：岩盤力学に関する理論、実験、測定等 (ダム、トンネル、爆破等への応用例も含む)

(2) 講演申込締切期日：1971 年 10 月 30 日 (土)

(3) 申 込 先：郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目土木学会岩盤力学委員会

(4) 申 込 要 領：講演題目、講演者氏名 (連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先、連絡先を明記のうえ、400 字程度の内容梗概を付けてお申込み下さい。

(5) 講演原稿締切期日：1971 年 12 月 20 日 (月)

注 1. 講演時間は、1 件討議を含め 30 分程度です。

2. 講演の採否、その他については、岩盤力学委員会にご一任下さい。

3. 講演概要はオフセット印刷と致しますため、講演者には学会所定の様式にしたがって、講演原稿を提出していただきます (1 題目刷上和文 4 ページ (図表、写真を含み 6 480 字) および英文梗概 1 ページ以内)。

中部支部行事案内 (郵便番号 460 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号  
愛知県土木部道路建設課内 052-961-2111 内線 2430)

(1) 昭和 46 年度第 2 回見学会

▶ 9 月 14 日 (火) ◀

1. 日 時：1971 年 9 月 14 日 (火) 9.00~

2. 見 学 先：名四国道および衣浦トンネル

3. 集 合 場 所：名古屋テレビ塔観光バス発着所 9.00

4. 定 員：50 名

5. 会 費：200 円

(2) 昭和 46 年度研究発表会論文・報文募集

1. 日 時：1971 年 11 月 12 日 (金)

2. 場 所：金沢大学 教養部教室

3. 内 容：土木工学・土木技術・工事報告



4. 応募方法：支部事務局または金沢大学工学部土木教室（金沢市小立野二丁目 40 の 20）喜内 敏教授宛に発表題目、発表者名を明記のうえ、文書でお申込みください。申込みにより所定の原稿用紙と起稿要領などをお送りします。
5. 申込締切：1971 年 8 月 8 日
6. 原稿締切：1971 年 9 月 10 日
7. 原稿送付先：金沢大学土木工学科 喜内 敏教授宛

関西支部行事案内（郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地船場センタービル 4 号館）  
電話 06-271-6686 番 振替口座 大阪 82599 番

## （1）「工事管理の問題点を探る」研究会

（第 2 回）——建設業界からの提起——

近年建設工事の大規模化、複雑化と多様化、技術の高度化と近代化は著しいものがあり、これに対応するため、当関西支部では工程管理に関する講習会を昭和 44 年 3 月および 6 月に、さらに、その近代化を妨げるものと効果的な方法等を認識する必要から、現実の問題点についてあらためて検討し直す立場の研究会として、その第 1 回——官公企業体からの提起——を昭和 45 年 4 月に開催しました。

今回は、この第 1 回に引き続いてのものであり、受注者という立場である建設業界を提起者として、業界・本社・現場レベルのそれぞれにおける現況・体制・安全・工程・品質・工費等の問題点に関して、前回と同様に各提起者の一括発言と参加者からの随時発言によるパネルディスカッション方式で行なうものでありますが、関係各位の積極的かつ多数のご参加をお願いし、また、期待するものであります。

1. 日 時：1971 年 9 月 22 日（水）13.30～16.30
2. 場 所：大阪科学技術センター 4 階 404 号 電 (06) 443-5321  
大阪市西区靉 1-118（地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靉公園北東角）
3. 問題点提起者および司会
 

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 開 会 挨拶 | 土木学会関西支部長 田 中 茂                 |
| 問題点提起者 | 大阪建設業協会 中 条 博 之                 |
| ”      | (株) 鴻池組 大阪本店 技術部長 矢 木 茂 昭       |
| ”      | (株) 大林組 クラレ中山寺工事事務所長 海 津 智 琢    |
| 司 会    | 京都大学工学部土木工学教室教授 工博 吉 川 和 広      |
| ”      | (社) 建設コンサルタンツ協会大阪支部事務室長 柳 田 保 男 |
| 閉 会 挨拶 | 土木学会関西支部幹事長 後 藤 尚 男             |
4. 定 員：100 名（先着順）
5. 参 加 費：無料，参加歓迎
6. 申込方法：参加希望者は、勤務先、連絡先および氏名を明記（様式随意）し 9 月 7 日（火）までに土木学会関西支部へお申込みください。参加証をお送りします。

## （2）福井地区講演会

共催 土木学会関西支部・福井県建設技術協会

1. 日 時：1971 年 9 月 6 日（月） 10.30～15.30
2. 場 所：福井市商工会館大ホール 電話福井 (0776) 23-8111 番  
福井市大手 3 丁目 13-1 国鉄福井駅より徒歩 5 分 福井県庁北西角
3. 題目と講師
 

|                               |                         |
|-------------------------------|-------------------------|
| 開 会 挨拶                        | 土木学会関西支部長 田 中 茂         |
| 10.30～12.00 ① コンクリートの品質管理について | 金沢大学教授 工学部 工博 柳 場 重 正   |
| 13.00～14.30 ② 河川水質汚濁の解析と防止    | 京都大学教授 工学部 工博 岩 井 重 久   |
| 14.30～15.30 ③ 北陸高速自動車道について    | 日本道路公団金沢建設局建設部長 北 村 喬 誠 |
| 閉 会 挨拶                        | 福井県建設技術協会会長 岡 本 誠       |

4. 定 員：150 名  
 5. 聴 講：無料 来聴歓迎

(付) テキスト頒布について

|                    |           |          |
|--------------------|-----------|----------|
| 工程管理 (演習問題解答付)     | 頒価 1800 円 | 送料 150 円 |
| 工事の安全対策            | ” 1200 円  | ” 120 円  |
| 近畿開発と大型土木プロジェクト    | ” 700 円   | ” 90 円   |
| 土木工事における土中水の扱い方    | ” 1800 円  | ” 120 円  |
| プレストレストコンクリート最近の進歩 | ” 1400 円  | ” 120 円  |

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

映画開催について <於土木学会講堂>

▶ 9 月 11 日 (土) ◀

1. 場 所：土木図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)  
 2. 日 時：毎月第 2 土曜日 14.00~9 月は 11 日 (土) です。  
 3. 上映映画：

- 「VSL 工法」 (大成建設)  
 「SWA 工法」 (住友建設)  
 「桁式ビルツ工法による東灘高架橋」 (住友建設)  
 「MDC 工法」 (川崎製鉄)

なお、上映映画は都合により変更することがございますのであらかじめご了承下さい。

4. 参加費：無料、土木関係以外の方も歓迎致します。

本映画会に関する問合せは 土木学会視聴教育委員会宛にお願い致します。(TEL 03 (351) 5130)。

ヨーロッパにおける海洋レジャー施設についての講演会

▶ 9 月 22 日 (水) ◀

土木学会海岸工学委員会主催により標記の講演会を下記により開きますので多数ご参加下さい。

1. 日 時：1971 年 9 月 22 日 (水) 13.30~15.00  
 2. 場 所：土木学会図書館講堂  
 3. 講 師：フランス・リグレア水理研究所技師 Louis Tourmen

沈埋トンネル要覧頒布のご案内

土木学会トンネル工学委員会  
 沈埋トンネル小委員会編

昭和 43 年度より昭和 45 年度の 3 カ年間、沈埋トンネル小委員会では沈埋トンネルを計画、設計、施工するにあたり、必要な各国の沈埋トンネル施工資料を収集し、研究、検討を行ってまいりましたが、今般現時点として沈埋トンネル施工の際の指針となる“沈埋トンネル要覧”を発刊致しましたので広くご利用下さるようご案内致します。部数が少ないため、お早目にお申込み下さい。

体 裁：B5 版・187 ページ

定価(実費)：2000 円 送料 140 円

主要目次： 第 I 編 総論 I-1 水底トンネル建設工法概説 I-2 沈埋トンネル概説 I-3 沈埋工法の 2 大方式 第 II 編 計画と調査 II-1 予備検討 II-2 調査 II-3 計画 第 III 編 設計 III-1 沈埋かんの設計 III-2 取付部の設計 第 IV 編 施工 IV-1 沈埋かんの製作 IV-2 トレンチ IV-3 基礎工 IV-4 沈設・接合作業 IV-5 埋戻しと内部仕上げ